

自分の時計

人は心の中に自分の時計を持っている

特集
1

新年ご挨拶

- 2022年度リハ実績報告 調査結果
- リハビリ体操
- 管理栄養おすすめレシピ
- 表紙の顔

特集
2

トピックス

- リハビリテーション支援ロボットを導入しました！
- 山梨県委託事業（山梨県リハビリテーション支援センター・高次脳機能障害支援センター）にて研修会を開催いたしました。
- 育児支援に力を入れています！
- リハビリテーション・ケア合同研究大会
2023年度 広島大会 参加報告／2024年度 山梨大会 開催へ！！



「リハビリテーション・ケア合同研究大会
in 山梨2024 準備委員会の皆さん」

特集 ① 新年理事長挨拶



新年のご挨拶

銀門会理事長 中島 育昌



「昨日の自分」を超えよう

新年明けましておめでとうございます。

コロナ感染の流行、人口減少、少子高齢などで、先行き不透明で将来の予測が困難な、いわゆるVUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代が続いており、特定医療法人銀門会としてはそれを乗り越え生き残るためには、柔軟に社会構造の変化や価値観の変容に対応して行くことが求められています。

まずは“恒産（こうさん）なくて恒心（こうしん）なし”（「孟子」）の言葉の通り、ある程度の安定した財産（収入）がないと、心も動揺しがちで、これを基本条件として執り行うことが優先されます。

さらに標題のタイトルのように、昨日の自分を超え、そのためには、自分の今の限界を常に確認し少しの努力を日々繰り返し、毎日を一生懸命走る（歩む）。それに加えて、今年の干支は甲辰（きのえたつ）であり、この年は“自分の目標に向かってしっかりと努力を積み重ねると、成功という芽が成長して、姿を整えていく（行ける）”と古くから言い伝えられており、これを上乘せして今年は行動したいものです。

“もしも今年が前年に比し劣っているとしたら、それこそ恥ずべきことである”と松下幸之助は述べております。互いに繋がり合う計画を立て、職員同士コミュニケーションを図り一致団結して前に進みましょう。“明日を見つめて、今をひたすらに”の精神で、油断・慢心する事なく、満足して一生懸命働けるように、銀門会の発展を願い進めていきたいと思っております。宜しく願いいたします。

甲州リハビリテーション病院の理念

私たちは、患者さん一人ひとりのより豊かな人生のために、

質の高いリハビリテーション医療を提供し、

地域リハビリテーション活動に貢献します。

甲州リハビリテーション病院の基本方針

1. 患者さんを中心とした質の高いチーム医療を基本とし、全ての職員が専門知識や技術の向上を目指します。
2. 患者さんが住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるように、地域リハビリテーション関係者との連携を実践します。
3. 患者さんの立場を尊重し、明るい挨拶と誠実な仕事に努めます。



リハビリテーション支援ロボットを導入いたしました！ 腕用のロボット型運動訓練装置

2023年4月、「リハビリテーション支援ロボット」が、当院に導入されました。

このリハビリテーション支援ロボットは、コンピューター技術とロボット工学を応用した腕用のロボット型運動訓練装置になります。特徴としては、患者さんの腕の状態と運動学習理論に基づいた17種類の訓練メニュー及び5つの難易度設定を組み合わせ、関節が硬くなることを予防することや関節の可動範囲の改善を図ります。リハビリテーションの際は、アームに手を乗せ、モニターを見ながら指定された方向へ繰り返し腕を動かしていきます。



訓練メニュー
コンピューター

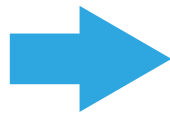
モニター

アーム



<左腕の実施前>

<左腕の実施後>



患者さんのリハビリテーション場面で使用を開始し、腕に関連した身の回りのことなどの能力向上を図っています。

患者さんからの声

肩が軽くなり、服が着替えやすくなりました。
お風呂の時に背中が洗えるようになりました。

リハビリテーション部

山梨県委託事業(山梨県リハビリテーション支援センター・高次脳機能障害支援センター)にて研修会を開催いたしました。

山梨リハビリテーション支援センター

山梨県リハビリテーション支援センターでは、毎年、県内のリハビリテーションに関わる多職種を対象に研修会を開催しています。本年度は、9月22日に山梨県立文学館にて東京女子医科大学病院リハビリテーション科教授若林秀隆先生をお招きし「リハビリテーション栄養のupdate」と題してご講演いただきました。若林先生は、このリハビリテーション栄養という分野の第一人者の先生です。講演では、リハ栄養診断推論とポジティブリハ栄養を中心にポジティブ心理学から見たリハ栄養のケアプロセスやマインドフルネスについてといった専門性の高いお話があり、改めてリハビリテーションにおける「栄養」の重要性について再認識しました。当日は145名と多くの皆様にご参加いただきました。



高次脳機能障害支援センター

山梨県高次脳機能障害者支援センターでは、「高次脳機能障害の基礎」と題して、市瀬祐一センター長が講演を行いました。

研修会はオンライン形式で、128 アカウントの参加がありました。参加者内訳は、看護師、作業療法士、言語聴覚士、他コメディカル、当事者・ご家族、医師、市町村、障害福祉分野の方、学生等幅広い分野の方々にご参加いただきました。

講演テーマは、「高次脳機能障害の基礎」とし、見えない障害と呼ばれる高次脳機能障害に対する理解を深められるよう、診断基準、画像、代表的な症状・経過を、実際の事例を通して支援と回復の過程をご紹介します。

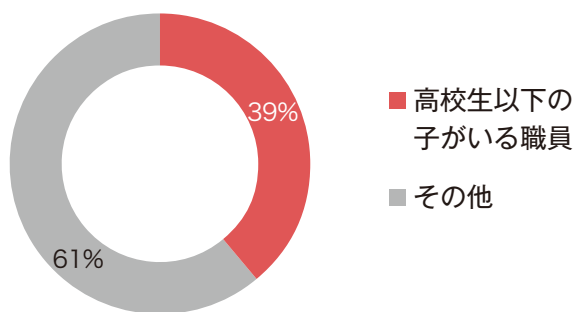
参加者より、「高次脳機能障害の基礎・支援の流れがわかりやすかった。今後の支援に活かしたい」当事者様からも、「悩んでいるのは自分たちだけではないことを感じられた」などの感想をいただきました。今後も切れ目のない高次脳機能支援が実現するよう、普及啓発につとめていきます。



育児支援に力を入れています！

甲州リハビリテーション病院では、職員のうち約4割が高校生以下のお子さんがある子育て世帯です。そのため、職員が子育てしながら働きやすい職場環境を目指し、様々な育児支援を行っています！

高校生以下の子がいる職員の割合
(2023.9.30時点)

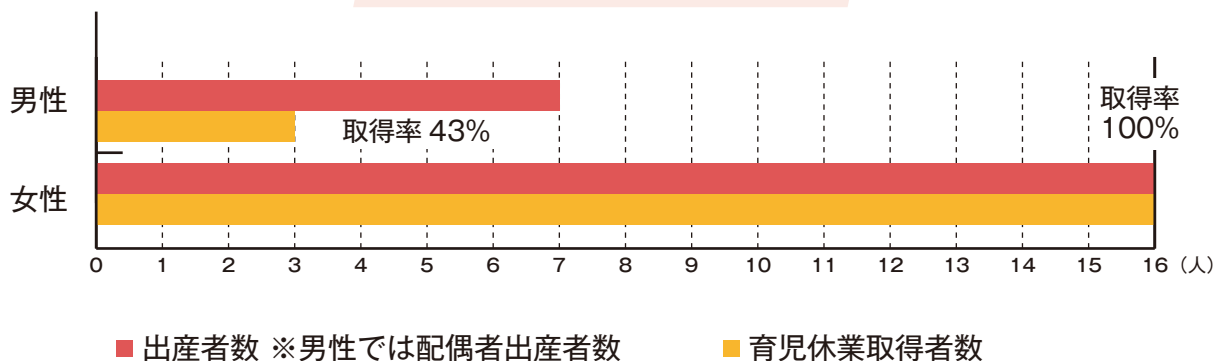


主な育児支援

- 提携保育所の拡充。提携施設は1カ所→9カ所に（2023年11月現在）
- 提携保育所や市町村のファミリーサポート、病児保育利用者へ補助金30%支給
- 育児休業から復職した職員へ育児手当（基本給の10%）を1年間支給
- 時間単位での子の看護休暇取得可
- 未就学児のお子さんのある職員は夜勤免除可

また、2022年10月から育児・介護休業法が改正されたことにより、男性職員の育児休業取得者も増えています！

育児休業取得実績（2022年度）



甲州リハビリテーション病院では職員が育児と仕事の両立ができるよう、今後も様々な育児支援に努めてまいります。

リハビリテーション

2023年度 広島大会 参加報告

2023年5月、COVID-19が感染症5類に移行し、世の中の行動制限が緩和された中で開催された「リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島」は、大勢の参加者が全国から一堂に集結し、語り合える事の喜びを感じる事ができました。

当院からは3部署6演題の発表を行ないました。

看護部

看護部より日頃の看護実践に関する重要な知見と成果を2演題発表し、聴衆からの活発な質問や、コメントを通じて新たな視点を得る事が出来ました。広島を堪能する事もでき良い経験ができました。



リハビリテーション部

リハ部では、セラピストマネジャー・回復期リハビリテーション看護師等、認定者で構成される回復期ワーキングチームで取り組んだ「家族向け介護相談会」や「チームづくり」についての報告、「コロナウイルス感染症に対する取り組み」について発表をしました。

医療品質管理室



「個人携帯手指消毒剤使用量増加に向けた取り組みの振り返り」というテーマで発表をしてきました。当院で個人携帯手指消毒剤を導入してから、WHOが手指消毒剤使用量の目標とする「1患者1日当たり20ml」を達成するまでの3年間の取り組みを振り返り、まとめたものです。

また、リハ部からの「当院におけるCOVID-19感染予防対策～3年間の取り組みと今後の展望～」についても共同研究者として発表させていただきました。

本大会では、多職種協働について高い関心があり、多くの参加者に発表を聞いていただくことができました。また、他の病院の取り組みや業務改善などの発表に刺激を受けて帰ってきました。これからも、患者さんに有益となる活動に取り組んでいきます。

大会の締めくくりは、山梨県が次年度開催地ということもあり、当院院長の佐藤吉沖次期大会長が甲冑姿で登場し、広島開催の天野大会長から軍配を引き継ぐパフォーマンスをし、会場を沸かせるとともに山梨大会PRを行ってきました。

我々、甲州（リハビリテーション病院）軍団も、ヴァンフォーレ甲府のユニフォームを身にまとい、一丸となって次期大会をアピールしてきました！



2024年は
山梨開催！



・ケア 合同研究大会

■ 2024年度 山梨大会 開催へ!!

2024年10月3日(木)～4日(金)の2日間、甲府記念日ホテルと常磐ホテルにおいて、リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨 2024 を佐藤吉冲大会長(甲州リハビリテーション病院院長・甲州ケアホーム施設長)のもと開催することとなりました。

この大会は、全国規模でリハビリテーションを推進する6団体が共同で毎年開催している学術集会です。大会には、全国のリハビリテーション病院、診療所、介護施設、福祉施設、介護サービス事業所、行政機関など、多岐にわたる専門職が参加し、リハビリテーション・ケアに関する情報交換と情報共有を行う場となっております。

今回の大会のテーマは「地域リハビリテーション新時代 いざ地域へ!」と題しました。地域リハビリテーションは、当院の理念にもある言葉で、「住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、あらゆる人々がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動」という意味です。

また、「新時代」という言葉には、新型コロナウイルスの流行が収束しても、以前の状況には戻れないという意識が込められています。我々は、感染症対策を講じつつも、新しく変わっていかねばならないと考えます。そして、「いざ地域へ!」という言葉には、高齢者が自宅に閉じこもらずに、勇気を出して再び地域のコミュニティに参加する意義が込められています。

このような大会を山梨で行えますことを誇りに感じつつ、全国から来られる方にとって有意義な大会となりますとともに山梨県のリハビリテーションの発展に繋がるよう準備を進めてまいります。

リハビリテーション・ケア合同研究大会
山梨2024

地域リハビリテーション
新時代 いざ地域へ!

2024年10月3日(木)～4日(金)

大会長 佐藤 吉冲
甲州リハビリテーション病院 院長
甲州ケア・ホーム 施設長

会場 甲府記念日ホテル (〒400-0073 山梨県甲府市湯村3-2-30)
常磐ホテル (〒400-0073 山梨県甲府市湯村2-4-21)

主催団体
一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会 / 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会
一般社団法人 全国デイ・ケア協会 / 一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 / 全国地域リハビリテーション研究会

大会事務局
甲州リハビリテーション病院 / 甲州ケア・ホーム
〒400-0032 山梨県甲府市百和町西日赤2031 TEL: 055-262-3121 (代) FAX: 055-262-3727

運営事務局
株式会社アドブレン社
〒400-8535 山梨県甲府市北12-8-10 TEL: 055-231-3311 FAX: 055-254-8000

山梨でお待ちしています!

2022年度 リハビリテーション実績報告

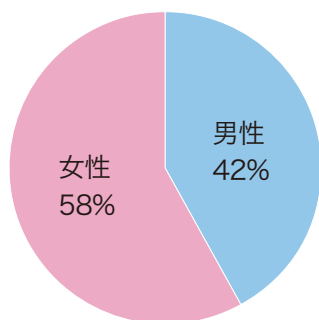
2022年度入院患者さんの状況とリハビリテーションによる改善状況

2022年度一年間に当院に入院された患者さんについてまとめました。1年間で661人の患者さんが入院し、心身機能や日常生活動作の改善を図って退院されました。

■入院患者数

661人

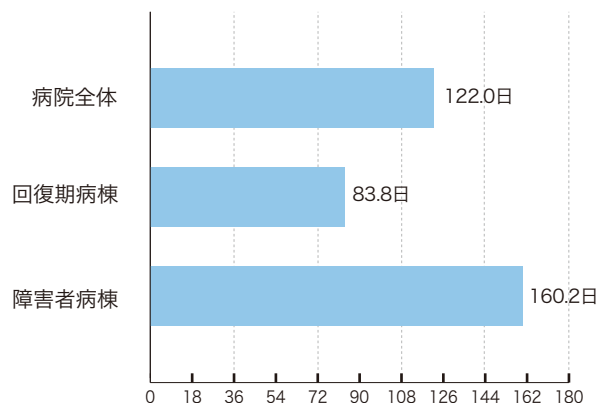
■男女比及び平均年齢



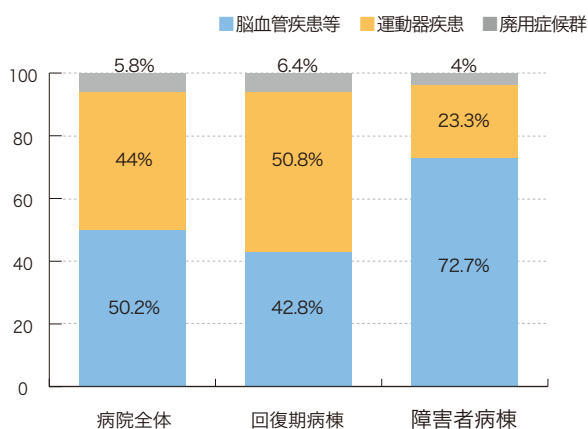
平均年齢

男性：72.5歳
女性：80.0歳
全体：77.3歳

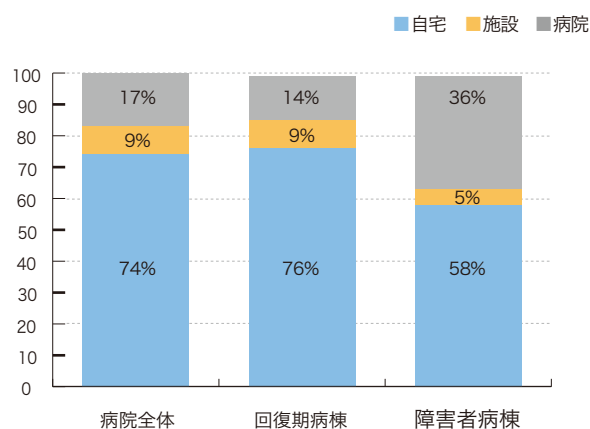
■入院期間平均日数



■疾患別リハ比率



■退院先



FIM (Functional Independence Measure、機能的自立度評価表) による日常生活動作の改善状況

FIM (Functional Independence Measure)

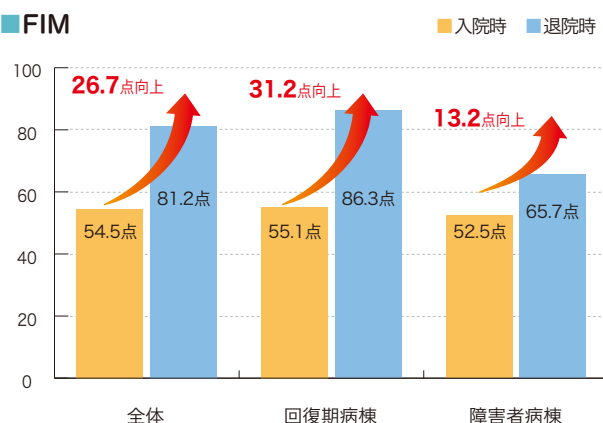
患者さんが日常生活を送るうえで必要な動作がどの程度で自分で実施できているのかを表す評価です。

食事、排泄、入浴、移動など全18項目を1点から7点で評価します。全ての日常生活動作が、自分でできる方は満点で126点となり、全ての日常生活動作に介助が必要な方は18点となります。

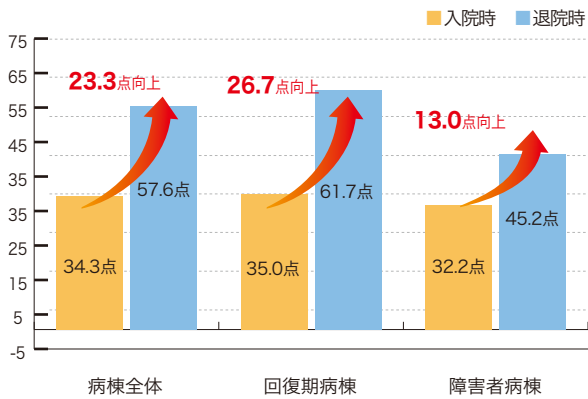
■各項目の採点基準

自立：7点、6点
見守り：5点
最小介助：4点
中等度介助：3点
最大介助：2点
全介助：1点

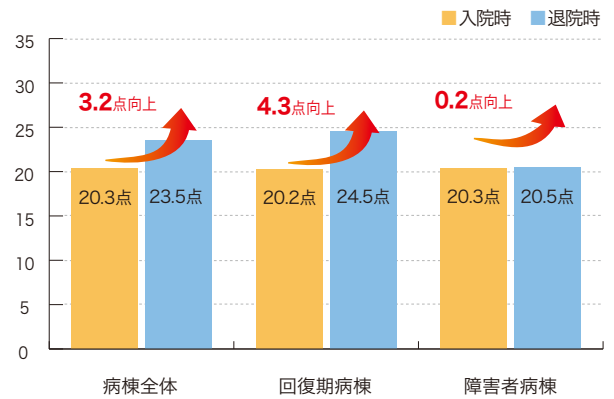
■FIM



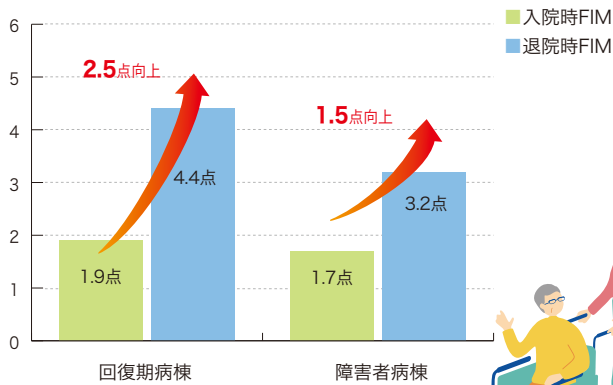
FIM運動項目



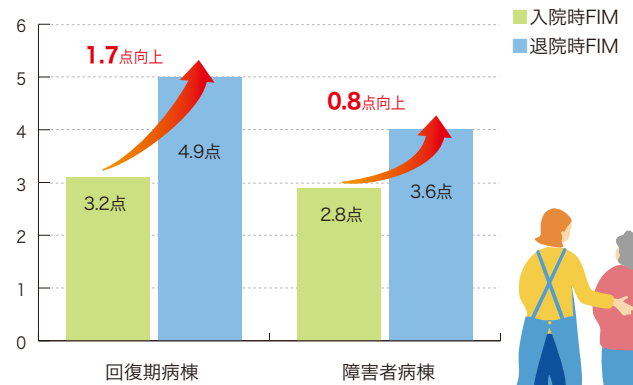
FIM認知項目



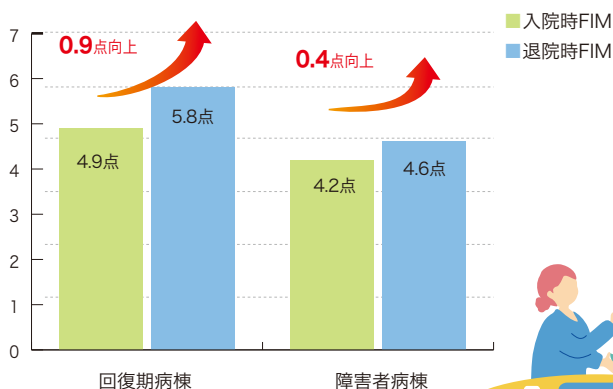
FIM gain (移動)



FIM gain (排泄)



FIM gain (食事)



当院では、365日リハビリテーションを提供し、1日も早くより良い状態で退院できることを目指しております。

院長コメント

新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、入院中の感染症対応が少しずつ緩和されてきました。新たなロボットリハビリテーションの導入や病棟での生活リハビリテーションの提供等を積極的に行ない、FIMの改善状況は33.6点と全国平均(24.3点)を大きく上回る改善がみられております。退院先についてもご自宅へ復帰された方が7割を超えております(全国平均66%)。

引き続き、少しでも多くの方が住み慣れた地域へ戻られるだけでなく、その地域の中で自分らしい生活を再開できるように支援させていただきます。



口を鍛えて美味しくご飯を食べよう！

健康を維持するためにはしっかりご飯を食べることがとても大切です。歳を重ねるにつれて飲み込みがしにくくなる、口が動きにくいなどのお悩みが出てくることも…。気軽にできる口の体操を生活の中に取り入れて、口周りの老化を予防しましょう！

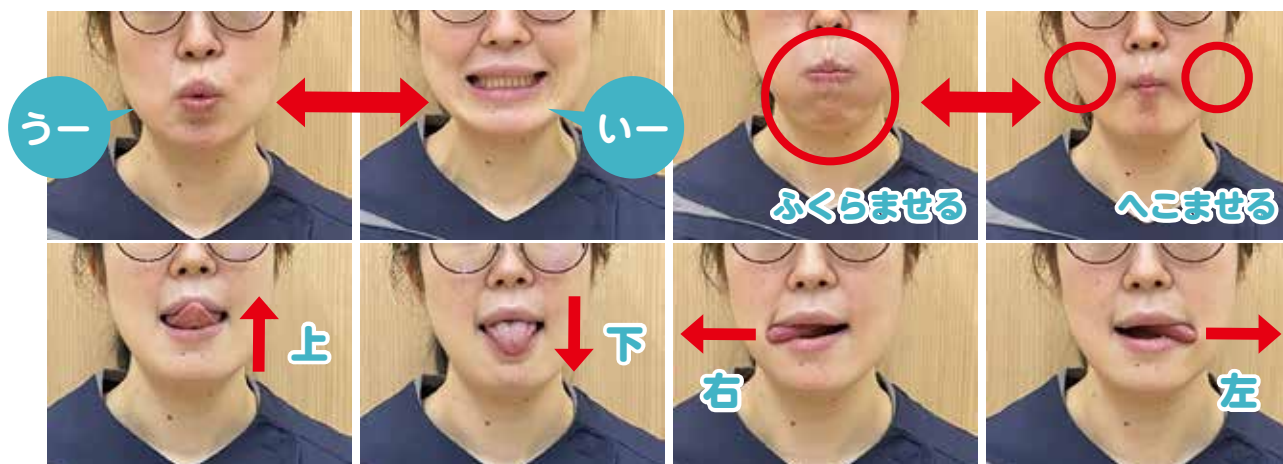
① 首のリラクゼーション体操

1. 首を上・下・左・右に曲げる **各5回**
2. 左・右を向くように曲げる **各5回**
3. 首を大きく回す **右・左 各2回**



② 口と舌を動かす体操 **1セット×10回**

1. 口を「うー」とつき出す ⇔ 口を「いー」と横にひく
2. 頬を膨らませる ⇔ へこませる
3. 舌を上・下・左・右に出す



③ 唇と舌の動く速さを鍛える体操

「ば」「た」「か」「ら」 **1音 10回×3セット**

ば、ば、ば、ば、ば…
た、た、た、た、た…

管理栄養士おすすめ!!

🍴 減塩！切干大根を使った簡単レシピのご紹介 /

切干大根のミネストローネ

ミネストローネとは、イタリア発祥の「具沢山のスープ」という意味で、野菜を使ったスープです。



作り方

- 切干大根は水で戻し、食べやすい大きさに切る。
- Aの野菜はさいの目に切り、ウインナーも同じ位の大きさに切る。
- 鍋を中火にしてオリーブオイルとにんにくを入れ、香りが出たらAを加え、白菜の色が透き通ったら酒・塩・コショウを加える。
- トマト缶と水を加えたら強火にして、煮立ったらさいの目に切った豆腐を加え、弱火で15分煮込んで火を止める。
- 器に盛り付けたら粉チーズを上から振りかけて出来上がり。お好みでパセリを加えると香りが引き立ちます。

所要時間

20分

1人前：157kcal
タンパク質：6.8g
食塩相当量：0.9g

【材料】(4人分)

切干大根 (乾燥)	20g
白菜	約1枚
人参	1/3本
A 玉ねぎ	1/4個
セロリ	1/2本
ウインナー	4本
絹ごし豆腐	1/2丁
粉チーズ (パルメザン)	大さじ3
トマト缶 (ダイス)	1缶
水	300ml
にんにく	1片(スライス)
酒	大さじ1
オリーブオイル	大さじ1
塩	小さじ1/2
コショウ	少々

★野菜は何でもOK!

数種類入ると野菜からだしが出て、減塩でも美味しく仕上がります。

★栄養のポイント

切干大根は食物繊維やカルシウム、鉄分を含んでおり、うまみが凝縮しているためスープにしても◎

アンケートはこちらを切り取ってご記入ください。次号について要・不要のご希望がありましたらし点をご記入下さい。
【次号 要・ 不要】



郵便はがき

4068790

山梨県笛吹市石和町四日市場2031

医療法人 銀門会
甲州リハビリテーション病院
「自分の時計」アンケート係 行

料金受取人私郵便

石和局認
100

差出有効期間
2024年4月29日
まで
(切手不要)

〒	
住所	
氏名	

* 次号について要・不要のご希望がありましたらし点をご記入下さい。【次号 要・ 不要】
アンケート回答のみの場合、無記名で結構です。



日本医療機能評価機構認定病院
リハビリテーション付加機能評価認定病院

医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院

表紙の顔



7ページにて紹介させていただきました「リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024」に向けまして、当院の佐藤院長を中心に準備委員会を発足し、秋の大会の成功に向けて日々思考錯誤しながら準備を進めております。

2023年に行われた広島大会では、全国各地から2,000名以上が参加され、研究発表、意見交換などが活発に行われていました。交流会では地元のダンスパフォーマンスや二胡の演奏など多彩な催し物を堪能し、参加者同士で交流を深めることが出来ました。



2024年度はいよいよ山梨開催の年です。職員一丸となって山梨大会を盛り上げていき、医療・介護の発展に努めてまいります！

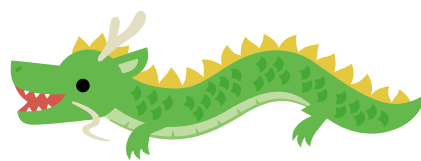
お知らせ

甲州リハビリテーション病院 メンテナンス中です！

2023年10月～2024年2月末まで、甲州リハビリテーション病院外壁改修工事を行っております。担当業者と打合せを重ね患者さんの安全を第一に工事を進めております。皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



また、2023年春に院内の壁内装改修工事を行いました。廊下の壁面塗り替えや一部木目調に改装し、廊下やデイルームが明るくなりました。入院患者さんに快適にお過ごし頂けるよう壁の掲示物や作品なども工夫しております。



甲州リハビリテーション病院 「院内だより」166号

自分の時計 2023年秋冬号

発行：(医) 銀門会

甲州リハビリテーション病院

編集：2023年度広報委員会

印刷：(株)オズプリンティング

医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院

〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 2031

TEL:055-262-3121(代) FAX:055-262-3727

相談窓口専用 / 0120-374-119 (フリーダイヤル)

相談専用FAX / 055-262-8190

E-mail : koshu@krg.ne.jp

甲州リハ

検索

アンケートは
こちらを切り取って
ご記入ください。



甲州リハビリテーション病院広報誌 「自分の時計」読者アンケート

該当するものに○印をつけてください。

■ご回答者さまについてお伺いします。

●性別について ①男性 ②女性

●職業について ①医療関係 ②介護関係 ③学校関係

④市町村関係 ⑤学生 ⑥主婦 ⑦その他

●居住地域について ①笛吹市 ②甲府市 ③山梨市 ④甲州市

⑤中央市 ⑥甲斐市 ⑦その他

■「自分の時計」2023年秋冬号についてお伺いします。

Q1 どの記事に興味を持ちましたか？

①ご挨拶 ②トピックス ③リハビリテーション実績報告

④リハビリ体操 ⑤管理栄養士レシピ ⑥表紙の顔

*複数回答可

Q2 「自分の時計」を読んで感想をお聞かせください。

①良かった ②ふつう ③悪かった

Q3 Q2の回答について、どうしてそう思われましたか？

●今後、取り上げてほしい特集や要望があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。